



発行所 名寄市徳田204番地1  
 北海道名寄高等学校同窓会  
 事務局 TEL 01654-3-6842  
 FAX 01654-3-6841  
 発行人 会長 梅野 博  
 (名高16期)  
 印刷所 (有)喜多印刷所

### ご挨拶

北海道名寄高等学校同窓会会長  
(名高十六期) 梅野 博



旧名中、旧名高女、名高同窓生の皆様には日ごろから同窓会活動に対し御協力、ご支援を頂き御礼を申し上げます。

この春も母校の後輩たちは、17名が国立大学に合格、108名が私立大学に合格と検討しましたが、昨年の実績を下回ったので来年の頑張りに期待したいと思います。

さて、私は去る九月七日に開催された名寄高等学校同窓会東京支部の総会に出席させていただきました。東京支部の林泉会長(10期)はじめ6期から47期までの同窓生35名が出席し西新橋のピアノカフェビシユタインにおいて東京、埼玉、千葉、横浜など各地から参加され、私も昔懐かしい方々と久しぶりにお会いし楽しいひと時を過ごしてまいりました。33期の千田洋一さん、山田智子さん、尾崎恵美さん(名寄在住)の三名によるピアノとオカリナの素晴らしい演奏で会に花を添えていただいたことも報告したいと思います。

また、6月の30日には、我が16期の同窓会が札幌のホテルポルスタールで開催されました。

我々名寄勢は貸し切りバスで参加し、札幌までの往復の道中は大いに盛り上がりました。同期会には総勢70名が出席し5年ぶりの再会に大いに盛り上がり、2次会、3次会と久々の再会に話が弾み、時間が経つのを忘れました。札幌在住の幹事の方々のご苦勞に感謝です。

名高を卒業してから何十年が過ぎましたが、故郷を離れても我が母校を思い、青春時代の懐かしい思い出は益々増しているのではないのでしょうか。私も今回の2つの会に参加したことで名高同窓会の継続発展のために心しなければと改めて強く思った次第です。

名高の今後益々の発展をご祈念し御挨拶といたします。

### 学校長より

～ご挨拶と近況報告～

佐賀 聡



今年の四月に後志管内の共和高校から着任いたしました校長の佐賀でございます。

名寄高等学校同窓会には、日頃から、本校の教育活動に對しまして、ご理解とご協力、さらには多大なるご支援を賜り、心から感謝申し上げます。着任以来、同窓生の母校への「熱き思い」に接する機会が数多くありました。その都度、本校に對する期待の大きさを感じてまいりました。九月七日(土)には東京支部総会にご招待をいただき梅野会長と二人で参加してまいりました。会員35名が参加し、総会・ミニ演奏会(ピアノとオカリナの演奏。演奏者は33期：尾崎恵美様・山田智子様・千田洋一様)が行われ、すばらしい演奏を聴きながら親睦が深められました。お話をさせていだいた同窓生から母校に對する「熱い思い」を拝聴し、改めてその責任の重さに身が引き締まる思いでした。また、その際、林東京支部会長(10期)から「名高生には志を高くもって頑張つてほしい」とのお話があり、現役生に伝えなければと感じたところです。このように、多くの同窓生が地元名寄や北海道だけでなく全国の様々な場所でご活躍され、母校に對する「熱い思い」をもっていたり、校長として心強く感じているところです。

現在、学校は、全日制普通科10クラス(1年生：99名・3クラス、2年生：134名・4クラス、3年生：105名・3クラス)全校生徒338名の規模であります。卒業生の進路につきましては、国立大学に17名の合格者を、うち2名が北海道大学に合格し、「道北の進学校」と呼ばれている名高の名を改めて示すことができます。最近の特徴としましては、公務員希望者が増加し、この春は30名の合格者を出し、年々合格者数を伸ばしています。

進路に関する活動は、講習(夏期・秋期・冬期・土曜・センター直前)をはじめ模擬試験、外部講師による進路講演会、大学及び専門学校等入試担当者による進路相談会、進路決り集会(校長及び学級担任からの激励と祈願だるまへの目入れ)、夏期勉強会(三日間)、医療職説明会(病院各部署での施設見学・説明・質疑応答等)、大学見学ツアー・勉強会(北海道大学・北海道教育大学旭川校の見学・先輩の話や聞く・研修施設での勉強会)、先生による大学模擬講義等生徒の進路実現に向けた取組を行っています。部活動では、新聞局が全国高校総合文化祭に18年連続19回目の出場を果たし、「第23回全国高校新聞年間紙面審査」において、13年ぶり3回目の優秀賞を受賞しました。高体連大会では、陸上競技部、バドミントン部、ソフトテニス部、卓球部、剣道部の5つの部が全道大会に出場し活躍してきました。また、吹奏楽部は北海道吹奏楽コンクール(C編成)に出場し素晴らしい演奏を披露してきました。美術部は10月に行われる高文連全道大会への出場権を獲得しました。その他の部活動は、全道大会への出場は叶いませんでしたが、練習に真剣に打ち込んでいるので、今後の活躍を期待しています。さらに、本校に部の設置はありませんが、トランポリンで協会に所属し活

動している3名が見事インターハイに出場しました。

学校行事では、名高祭名物の行灯行列も例年同様テントを並べて建て、枠組やステンドづくりで熱心に取り組み、すばらしい行灯を創り上げました。あいにく行灯行列を行う日は雷や雨の影響で一日延期になりましたが、翌日は天候にも恵まれ予定通り市内を行進でき、生徒の努力の成果を地域の方々に披露することができ、毎年楽しみにしている方々の期待にも応えることができたものと推察しています。Mステ (Meiko Music Station) も年々作品のレベルが向上し、体育館には入りきれないほど保護者・地域の方々が足を運んでくれました。その他にも、演劇・ステージ発表・展示・名高喫茶等も生徒の努力の成果が作品等に表れて、来校された方々を楽しませていました。

このように、多くの先輩によって受け継がれてきた「文武両道」の精神を現役生もしつかりと受け止め、進路実績のみならず部活動や学校行事、学校生活全体に自由闊達な雰囲気の中で、のびのびと勉学に励み、教職員は「チーム名高」として一体感をもって精一杯指導及び支援をしているところです。今後も校訓「集中之行」のもと、名高の伝統をしつかりと受け継ぎ、充実した教育活動を展開してまいります。

ご承知の通り、令和4年度(2022年度)には創立100周年を迎えることとなります。今後準備委員会を立ち上げ、同窓会の皆様と力を合わせて準備を進めてまいりますので、一層のご支援・ご協

力をお願い申し上げます。

終わりになりますが、名寄高等学校同窓会の益々のご発展と同窓生の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

## 同期会便り

### 名高野球部から得たこと

(名高七十七期) 安澤 翼

私は、平成二十七年に名寄高校へ入学し、平成三十年の三月に卒業した第七十七期の卒業生です。現在は名寄市役所に就職し、名寄庁舎三階の総務部財政課管財係という部署に配属されています。財政課は簡単に言うと名寄市のお金の管理や使い道を決めている部署です。財政課の下にはさらに財政係、契約係、車両係、管財係の4つの係があり、私はその中でも管財係という係に配属されています。

管財係と聞いてあまりピンとこないと思いますが、主な仕事内容は、市の所有する備品、遊休私有地、建物の管理を行うことです。財政課はパソコンでの事務作業が多く、まともにパソコンが触れない私からすれば、初めのうちは知らない

国に放り出されたような感覚でした。右も左もわからない状態で、うまくやっていたのかとても不安な気持ちでしたが、高校生活で培ってきたものを活かし、現在は順調に仕事にも慣れてきました。一日中座りっぱなしで事務作業に追われてしまうことも多く、仕事もわからないことだらけなので正直大変です。しかしそ

れ以上に、毎日が新しいことの連続でも勉強になりますし、たくさんの人との出会いがあり、充実した日々を過ごすことができています。

私は小学校三年生から高校三年生までの十年間、野球を続けてきました。その中でも高校三年間の部活動は大変実りのある日々でした。私は部活動で主に「気づく力」「継続する力」「努力する力」を身につけることができました。

「気づく力」は、日々の練習の中で行う石拾いや、同じ野球部の仲間たちとのコミュニケーションの中で培われてきました。打った打球が小さな石に当たってイレギュラーしないように目を凝らして石を探していました。これはとても地味な作業ですが、地味だからこそ意味があり「気づく力」を身につけることができた要因の一つだと思います。また、野球部の

チームメイトと毎日コミュニケーションを取る中で、いつもと様子が違うようなことがあれば積極的に声をかけチームの雰囲気を良くできるように気を付けていました。このような経験を活かして、職場内でも困っている市民の方に気づき、積極的に声をかけするように心掛けることができています。

「継続する力」は、毎日厳しい練習を続けていたのはもちろん、それ以外にも練習後、自宅で筋力トレーニング、素振り、ランニングなどを継続して続けていました。その他にも朝早くグラウンドにきて朝練をしたりもしていました。このような何事も「継続する力」は働き始めてから大切だと感じています。例えば、私は

毎朝職場内のコーヒーを作るようにしています。特に担当は決まっています。毎日欠かさず、朝早めに登庁して作ります。そうしているうちに、ありがたいことに周りの職員の方に「いつもありがとうね」と声をかけて頂きました。私はその言葉を受けて、高校のうちに「継続する力」を身につけることができて良かったと強く思いました。朝早く来てコーヒーを作るといふ何気ない作業ですが、毎日続けることで、円滑でより良い人間関係に繋がったりするのです。私はこれからも、何気ない「継続の力」を大切にしていきたいと思っています。

「努力する力」は野球を続けていく中で身につけたものです。私は、努力とは失敗を乗り越えることだと考えます。よく野球は失敗のスポーツと言われるのですが、その通りで上手くいくことよりも失敗することのほうが遥かに多いです。ですが肝心なのは失敗した後どうするかです。私は、試合で打てなかったりすると自分でなぜダメだったのかを考え、時にはチームメイトの意見を取り入れながらその都度反省し対策を考え練習を繰り返してきました。そうしているうちに努力の仕方を自然と身につけることができました。

これは社会に出ても同じことで、失敗した後どのように対策を考え、どのように努力をするかが肝心であると思

います。私もまだ仕事からするとよく失敗しますが、失敗する度に対策を考えたり、職場の先輩方に相談してみたりと今でも努力をしています。このように職場でも努力を重ねられているのは野球

を続け、努力の仕方を身に付けていたおかげであると思はれます。

以上のように部活で得た力を活かしながら、これからも地域貢献に向けてさらに自分の人間性を高めていきたいと思えます。また自分ひとりではなく周りの方の支えがあることを忘れず感謝の気持ちをもって仕事を頑張っていきたいと思います！



### 名寄高等学校同窓会 東京支部 令和元年総会に出席して

(名高四十一期) 飯岡 洋子

二年に一度行われている名寄高等学校同窓会東京支部の令和元年度総会が、九月七日(土)東京都西新橋にある「ピアノカフェ ベヒシュタイン」で行われまし

リナとベヒシュタインの音色を楽しむ会」がありました。いずれも第33期同窓生である尾崎美恵さんがオカリナ、山田智子さん、千田洋一さんがピアノをソロや連弾・合奏などの様々な形で演奏してくださりました。曲目は童謡からクラシックまで幅広いものでしたが、どれも聞いたことのある曲ばかりで、まさにオカリナとベヒシュタインの音色を楽しませていただきました。総会の途中には校歌斉唱もありました。久しぶりの校歌でしたが、配られた歌詞カードを見ながらみなさんの歌声を頼りに歌い、懐かしい気持ちになりました。

君が声をかけてくれました。最初は同窓生とはいえ同期以外の方々の中に入って大丈夫なのだろうかとの不安がありました。場所もピアノのカフェでピアノとオカリナの生演奏が聞けるということで、たとえ話が弾まなくても素敵な時間を過ごすことができるかな、という感じでした。また、関東に在住の同期と顔を合わせられる機会もそう多くないですし、同期が一人でもいれば話し相手もいて心強いと思います。思い切って出席してみました。実際参加してみると、北海道から校長先生や

同窓会長さんが足を運んでくださっておりました。今の名寄高校の話を通じてお話を聞きました。さらには、名寄高校のパンフレットや名寄高校の行事や部活動・進路について記載された資料、名寄高新聞などが名寄高校のクリアファイルとともに渡され、現在の名寄高校の様子が分かるのと同時に自分の高校時代を思い出すきっかけとなりました。また、同期が私を含め五人出席しており、昔の話はもちろんのことそれ以外にも多くの話をする事ができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。もちろん、同期以外の方々とも様々な話をする事ができ、最初の不安な気持ちは何だったのかと思うほどでした。年齢の近い同窓生の方々とは当時の先生方や部活動・行事などの話で盛り上がり、年齢が離れている先輩

平成30年度卒業生 進路別合格者数 (延べ数)

Table with columns for school names, gender, and graduation year, showing the number of graduates who passed university entrance exams. The table is divided into sections for different types of schools and universities.

# 平成三十年度 名寄高校同窓会総会・ 懇親会実施される

## 総会・懇親会盛会に終了

平成三十年度名寄高校同窓会総会・懇親会が去る平成三十年十月十三日(土)に例年通りグランドホテル藤花にて、約百名の参加を頂きまして、盛会のうちに終了しました。総会では梅野 博同窓会長、山本周男校長から挨拶を頂いた後、議事に移りました。二十九年度の各報告、三十年度の計画等全ての議案が承認され、無事に総会を終えることができました。参加していただきました方々のご理解とご協力に心より感謝いたします。総会後の懇親会は、当番幹事である名高三十四期、四十四期、五十四期の方々のご尽力で盛会に行われました。また、協賛いただきました各商社様には、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



## 令和元年度及び2年度総会日程

今年度(令和元年度)の本部総会・懇親会は、令和元年10月11日(金) 18時30分からグランドホテル藤花で開催されます。当番幹事は、名高35期、45期、55期の方々です。また、来年度(令和元年度)は名高36期、46期、56期の方々による当番幹事で、令和2年10月9日(金) 18時30分からグランドホテル藤花で開催される予定です。

## 夏期集中学習会

毎年、学校祭終了後の三連休を利用して、三年生が学習に集中し、進路実現に向けての大切な足がかりとしています。今年度は7月13日(土)から15日(月)の日程で、名寄市にある駅前交流プラザ「よろーな」の会議室で実施されました。落ち着いた環境の中、勉強に集中することができました。同窓会では、この活動を後援し、会場使用料の一部を補助しています。

## 同窓会報第53号の 原稿募集

令和2年10月発行予定の同窓会報53号の原稿と広告を募集しています。会報の掲載内容は、同窓会各員や各支部地区役員、同窓生個人の原稿、旧職員の原稿、支部だより、同期会だより、同窓生の活躍状況などがあります。寄稿先は事務局(〒096-0007 1 名寄市字徳田204 名寄高校同窓会 TEL 01654-31684 1 名寄高校 瀧川)までご連絡ください。原稿は各自のパソコンで作られたものでも、手書きでもかまいません。写真は使用後に返却いたします。今後、同期会だよりや同窓生の活躍状況などを積極的に掲載させていただきます。どうか考えておりますので、ご協力をよろしく願います。

## 後書

今年も同窓会報の発行にあたり、多くの方々から寄稿を頂きました。今後、若い世代の同期会開催の報告や総会・懇親会への参加を願っております。多くのご協力、本当にありがとうございました。

### 平成30年度 協賛商社一覧 敬称略順不同

青野海産物販売店	株式会社 ダスキン滝沢
定木孝市朗税理士事務所	株式会社 グリーン薬局
株式会社 黒川商店	株式会社 緑や
東洋製麺	かまくん本舗 えびす食品株式会社
北星信用金庫	有限会社ラヂエーター田中
(株)丸徳 木賀商店	川瀬鍼灸整骨院
宮崎靴スポーツ店	有限会社 丸萬
吉川印刷株式会社	有限会社 クロスオート
スタジオ稲場	株式会社 志水商店
喜信堂	フレンドリーふたば
松前陶器店	オーセンティックバー ディキシー
有限会社 喜多印刷所	株式会社 道北テント
株式会社 坂下組	ゲオ名寄店ブックスレインボー
(有)靴スポーツの すま	名寄自動車学校
株式会社 清水金物店	名士バス株式会社
グランドホテル藤花	株式会社北方印刷所
柴田時計眼鏡店	(株)振興公社 なよろ温泉サンピラー
株式会社 名文堂	なよろ菓子工房ブラジル
森実商店	株式会社小田桐商店
梅野博・新事務所	中館建設株式会社
北昭産業株式会社	BAKERY ISHIDA